

令和5年度

# 東京都教職員研修センター紀要

第23号

令和6年3月

## はじめに

これからの予測困難な時代において子供たちが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓く力や、自ら主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力を育成することが求められています。そのために、私たち教育を担う者が、「誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育の実現」を目標に掲げて、子供の意欲を引き出し、主体的に学び続ける力を育てるよう、指導を工夫・改善していくことが必要とされています。

こうしたことから、東京都では、あらゆる分野でデジタルトランスフォーメーションが加速している東京の強みを生かし、教育の分野においても、一人1台の学習者用端末を活用して、子供一人一人が自分のよさを認識しつつ、多様な人々と協働しながら学ぶ機会の提供や、デジタルを活用した新たな授業スタイルの構築などを目指しています。これらを踏まえ、東京都教職員研修センターでは、令和5年度、次の研究に取り組みました。

第1は、「特別支援教室及び通級による指導に関する研究（2年次）－発達の段階を踏まえた自立活動の指導の充実－」です。中学校85校・都立高等学校40校41課程を対象に意識調査を実施し、中学校から高校への指導の引継ぎに関する課題を明らかにしました。また、「指導の充実のためのガイドブック～実態把握に基づく自立活動の指導改善～」を開発し、指導改善の方策を提示しました。

第2は、「東京都における新たな授業モデルの研究（1年次）」です。授業デザインや学習方略等に関する先行研究を行い、資料にまとめました。また、「デジタルを活用したこれからの学び」に関して関係部署と連携しながら先進的な事例等について調査し、共通理解を図りました。

第3は、「効果的な校内研修等の在り方に関する研究」です。都内の公立学校32校を対象に意識調査を実施し、校内研修に関する課題を明らかにしました。また、効果的な校内研修の実施に際し、様々な課題克服に向けた取組や改善方法を示した事例をガイドブックに掲載しました。

各教育委員会及び園・学校におかれましては、本紀要に掲載した研究の成果及び調査の結果を教職員間等で共有していただき、各園・学校における学習活動等の改善・充実に向けて、広く活用していただければ幸いです。

結びに、当研修センターの教育課題研究の推進に当たり、関係教育委員会をはじめ、検証授業及び調査等に御協力いただいた園・学校の先生方、多くの御示唆や御助言をいただいた講師の方々に御礼を申し上げます。

令和6年3月

東京都教職員研修センター所長 藤井 大輔

# 目 次

1 特別支援教室及び通級による指導に関する研究（2年次） －発達段階を踏まえた自立活動の指導の充実－ .....	<u>3</u>
2 東京都における新たな授業モデルの研究（1年次） .....	<u>23</u>
3 効果的な校内研修等の在り方に関する研究 .....	<u>45</u>
参考文献・資料等 研究に携わった所員・講師・教員研究生・研究協力校.....	<u>65</u>